

～我が家の自宅改修工事について～

この都度の、我が家の改修工事に当たり組合員の皆様には大変お世話になりました。その後2か月を経過しますが、満足した快適な生活を送らせて頂いています。有難うございました。

改修工事を計画していたのは、何年も前からの事で、父が亡くなった時点で、三回忌が済んだなら実施する。と再確認をし、親族に公表しました。（農家の先祖代々の家を守るということは、こういうものなんです）まず、改修に当たって、新築にするか？改築するか？改修程度にするか？私達二人で話し合い、妻の希望は、取壊しての新築でした。



◇工事をするにあたって、四つの目的がありました。

- 一、他の地区では考えることのない雪の問題。明治3年（4月26日）築造の昔ながらの農家特有の屋根、敷地一杯に建てられた建物からの落雪は、隣の家、道路に降り迷惑をかけ、危険な毎日でした。事実道路への落雪は、道を半分も塞いでしまい、今まで事故がなかったのが、不幸中の幸いでした。
- 二、天井が高く、隙間があり、強風の時などは、カヤぶき屋根のゴミが下りてくる、畳の下の床板も隙間だらけ、湿度の高い会津盆地ならではの、夏涼しく、冬寒い造りを何とか解消したい。
- 三、農家特有の間取り、不要な部屋を無くし、その部屋を車庫にした。
- 四、昔の家そのままなので、二つ目にも記した冬寒くないよう断熱を施したい。それと耐震構造にしたい。



新築となると、何年か前から組合に、設計事務所の資格取得を希望していたが、建築確認を取るのが不可能との事から大規模な改修工事、築147年の梁などを残しての雪対策を基本にした、屋根の大改修計画、設計等大変お骨折りを掛けました。

そんな折、私の大怪我、二度あることは三度ある事もある！！（一度目は、先回もお話した昭和63年の直腸腫瘍手術、その年は既存の家半分を取壊し新築した時で、上棟式には病院から外泊しての出席でした。二度目は昨年的小屋改修工事、屋根を取り壊す準備段階での頭蓋骨陥没骨折）との、きつい戒めが家内からあり、この様な改修工事になりました。



カヤぶき屋根の解体、暑い最中、本当にご苦労様でした。屋根の出来栄も立派に思い通り出来上がり有難うございました。電気融雪設備での落雪対策、雪が降るのを心待ちしています。皆さんが心配してくれていますランニングコストの掛らない様管理して行きたいと思えます。



内装に関しても、しっかりと、要望通り施工して頂き満足しています。天井も今まで通り高く仕上げさせて頂き、9月末の台風でもゴミが下りる事もなく、後は冬場の暖房効果を楽しみにしているところです。昔のままの梁及び柱、しっくい、帯戸、以前のを張り替えてもらった襖、以前のまま残してもらった神棚など、来る人たちが皆びっくり驚き、喜んでくれています。



車庫についても苦労をおかけしました。車庫に入れる車を計算しての床の間、飾り棚、本当に助かりました。10cm余りの余裕のスペースですが、入庫及び道路への出庫もスムーズに難なく使わせてもらっています。降雪時の出庫、少ない除雪で出来ることを楽しみに願っています。



改修工事に当たり、姪っ子達（都会っ子）からも、昔からのこの梁、柱、非常に好ましく思われていて、それをそのまま残し、マッチした、此の部屋の風情、皆に喜んでもらえて、私達も嬉しく思います。孫たちも大きくなったなら、是非この家に住みたい。と言っていて、本当に改修して良かったと思っています。四つの部屋を全てトッピラキにして、はしゃいで飛び回っています。先日は友達まで連れてきて、飛び回っていました。



我家を含め、このあたりの家は、明治維新会津戦争で皆焼き払われ焼き野原となりました。その直後に築造された家を取り壊すことには、ためらいもありましたが、私の怪我で、結果この家も生き延びる事になりました。これから先、快適に暮らしやすく修繕しながら、残された年月楽しみたいと思えます。そして出来ることなら次代に残していきたいと思っています。

今回の工事は、住みながらの一部屋、一部屋の工事でした。数多くの不具合、とりあい、やりづらさがあったかと思いますが良い経験だったと勘弁してください。今の時代、全て取り壊しての新築が普通の時代になったかと思えます。これからは、このような工事を経験出来ないと思えますが、大工さんご苦労様でした。何十年も先まで住み続けることのできる家づくり、リフォーム工事が出来ること、依頼されることを念じて終わりたいと思えます。